

第 171 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和元年 8 月 23 日（金） 13：30～15：00

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員（欠席）

事務局 河上部長（欠席） 湯浅課長（兼室長） 市原課長 牛尾室長

村木課長 外浦課長 平岡室長（代理：三浦係長） 原田分室長

佐々尾分室長（欠席） 三浦分室長 小松分室長

書記：日ノ原係長 木谷主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 教育委員会委員の視察研修について（資料 1）
- (2) 浜田市指定文化財の指定解除について（資料 2）
- (3) 浜田市浜田城資料館条例の施行期日を定める規則の制定について（資料 3）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

石本教育長

朝晩が涼しくなってきた、秋らしくなってきたが、この時期は夏の疲れが出る時期でもあるため、皆様方には体調に十分に気をつけていただきたい。一昨日の夜は美川地区での学校統合計画審議会答申説明会に出席いただき、ありがとうございます。地元からの厳しい意見もあったが、引き続きよろしく願います。

それでは資料に基づき、この 1 か月間を振り返る。

① 7 月 31 日（水）第 170 回浜田市教育委員会定例会（2 階会議室）

② 8 月 3 日（土）令和元年度新しい学びプロジェクト研究協議会
拡大研究推進委員会

8 月 4 日（日）令和元年度新しい学びプロジェクト研究協議会
教育長会議（東京大学）

東京で新しい学びプロジェクト、協調学習に取り組んでいる市町村等の教育長の会議があり、参加をした。この会に入って 9 年目くらいになり、山田前教育長は何度かこの教育長会に出席

されていたが、私は今まで1度も参加をしたことがなかった。10月18日、19日に金城中学校と旭中学校を中心として、全国規模の協調学習の授業研究会を開催するので、PRのために東京に行き、全国の皆様方には是非、浜田に来てくださいと話をしてきた。遠方であるため、「広島までバスで迎えに行きます」というような話もした。50人くらいは来ていただけるのではないかと感触を得て帰ってきた。そういったことで、初めて東京大学へ行かせていただいた。

③ 8月7日（水）浜田地区教科用図書採択協議会（教育委員室）

これは、7月の定例会の後に臨時会を開き、浜田市としての採択をしていただいたが、各市町村の教育委員会がその結果を持ち寄って、最終的に浜田教育事務所管内で統一したものにすするため、協議を行い、結果として管内三市三町の全ての市町で浜田地区の採択協議会調査員の方々が推薦された教科書に決定をした。来年度は中学校の教科書採択があるため、引き続きよろしく願います。

④ 8月9日（金）令和元年度・浜田市教育研究会・教育講演会（県立大学講堂）

松久眞実先生が講師をされた。昨年も来ていただいたが、講演後のアンケートの中で、是非もう1度先生のお話が聞きたいといった意見が多数あり、2年連続で講演していただいた。演題も最後に「パート2」と題している。今回は、叱り方の基本について具体的にお話いただいた。子どもが納得できないような叱り方はだめだといったことや、叱るときの魔法の言葉として、「あなたらしくないね」といった投げかけが1番効くといった話が1番印象に残っている。

⑤ 8月11日（日）市立幼稚園、小学校、中学校閉庁期間実施（11日～16日）

この期間は、日直を置かなくてもいいということにしている。働き方改革の関係で、この時期は先生方にゆっくり休んでいただこうといった取組であり、浜田教育事務所管内三市三町統一した取組として昨年度から実施しており、今年度が2年目である。

⑥ 8月17日（土）浜田開府400年記念事業「みんなのラジオ体操」（市陸上競技場）

500人集める目標を立てて取組んだ。私は500人を集めるの

は大変であり、集まらないのではないかと思っていたが、担当課が非常に頑張り、当日は905人という多くの方に集まっていただき、盛大にラジオ体操ができて大変嬉しく思ったところである。

しかし、500人を予定にしており、600人分の記念品は用意していたが、約300人の方には記念品が、当日なかったということで、その場で引換券をお渡しして後日お渡しする対応としたため、ご迷惑をおかけした。

⑦ 8月19日(月) 令和元年度ふれあいフォーラム(石央文化ホール)

全員協議会のため、欠席させていただいた。藤本委員にご挨拶をしていただき、お世話になった。ありがとうございます。

⑧ 8月20日(火) 県教委主催「業務改善・学校組織運営研修会」(大田市民センター)

県教育委員会と大田市教育委員会の主催で開催され、私と牛尾室長と2人で出席した。講師の住田校長先生は、浜田市出身の方で私や牛尾室長と同級生である。以前、「カラフルな学校づくり」という本を紹介させていただいたが、この本の著者である。当日、この本にサインをしてもらおうと思っていたが、忘れて行った。非常に分かりやすく、具体的な話をされて、色々と参考になるヒントがたくさんある研修であった。実は来年8月の初旬にある教育講演会の時に、講師として来ていただくことが決まったため、また来年を楽しみにしている。演題に「働き方改革なんて言うのは、もうやめよう～今、生き方を問われているのです。～」という演題で講演をされた。

⑨ 8月20日(火) 第50回全国中学校体操競技選手権大会出場者市長表敬(庁議室)

全国中学校体操競技選手県体に出場する旭中学校男子体操部の4名の選手が校長先生とともに市長表敬に来られた。実は、昨日から京都府向日市で大会が始まっている。昨日、開会式が行われ、今日と明日が試合である。試合が2日間あり、1日目か2日目のどちらかで1回演技をして、順位を決める一発勝負の大会になっている。旭中学校は明日の昼前辺りに演技し、夕方には順位が出て、浜田に帰ってくると聞いている。監督の方と話をした時には、ノーマスで演技ができれば3位入賞も夢ではないといった話をされていた。非常に良い順位を期待

できるのではないかと考えている。

- ⑩ 8月21日（水）令和元年度島根県特別支援教育振興大会兼島根県特別支援教育PTA研修大会（いわみ〜る体育室）

開会式だけ参加をさせていただいた。特別支援教育振興大会や研修大会は、特別支援学級や特別支援学校での取組の紹介や行政を含めた支援の課題を色々とまとめられる大会である。この大会でまとめた意見を要望書として、県教育委員会に毎年出されている。

今回で57回目の開催ということであり、今年の4月まで県議会議員を52年間やっておられた浅野前県議会議員が会長を務めておられ、会長になって約50年になるということで、特別支援教育に対する強い思いを開会式の中で話をされていた。

また、県の教育長も来られ挨拶をされた。

- ⑪ 8月21日（水）浜田市立学校統合計画審議会答申説明会（美川公民館）

委員方にも参加をいただき、美川公民館で学校統合計画審議会答申説明会を開催した。

- ⑫ 8月22日（木）第5回（仮称）浜田歴史資料館検討会（4階講堂）

5回の審議を経て、昨日の段階で一応意見の取りまとめが終わった。後は、会長が意見をまとめて市長に報告書の提出をされる。一応、歴史資料館検討会は昨日で終了したということである。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

宇津委員

8月20日の県教委主催の研修会であるが、演題に「働き方改革なんて言うのは、もうやめよう」とあるが、時代と逆行しているような捕らえ方にも聞こえる。

石本教育長

働き方改革をやめようというのではなく、働き方改革というよりも、生き方そのものを問われている。ワークライフバランス、その辺りを強く言われている。これは生き方なんだといった話をされた。

働き方改革を否定されているのではなく「働き方改革は当然しなければならないことであるが、そういった次元ではない」とい

藤本委員	う様な、進んでいる話であった。
藤本委員	8月21日に、はまだ市民福祉大会とあるが、これはどういった内容であるか。
石本教育長	福祉大会というのは、社会福祉協議会、身体障害者福祉協会、高齢者クラブ連合会、民生児童委員協議会の4団体が共催でされる福祉大会である。私は開会式のみ出席したが、その後、色々な表彰を20名以上の方が受けられ、その後に、講師の方が来られて講演会があった。毎年行われていて、今までずっと土曜日に行われていたが、今年初めて平日に開催された。
藤本委員	承知した。
藤本委員	協調学習の話があったが、研究大会が10月にあるが、出席の有無について問い合わせ等はあるか。
牛尾室長	もし、出席が確実であれば報告いただければと思う。
藤本委員	せっかくであるので、出席してみようと思っている。
牛尾室長	全体会等はないため、来ていただいて授業を見ていただく形になる。
藤本委員	昨年、三隅だったか教室に入ったら、取りまとめ役を頼まれて取りまとめをやったが、後で考えたらなぜ私がしなければならなかったのかと思ったことがある。うかつに教室に入れない。
牛尾室長	本当に見ていただくだけである。
石本教育長	案内が届いていると思うが、金城中学校で数学と道徳、旭中学校で社会と道徳で2教科ずつある。
藤本委員	承知した。
石本教育長	その他はよろしいか。
各委員	特になし。

2 議題

(1) 教育委員会委員の視察研修について（資料1）

日ノ原係長	平成29年度から教育委員会の視察研修を行っており、資料の下の参考の部分をご覧ください、平成29年度はコミュニティスクールの先進市視察ということで、山口県の長門市立油谷小学校を視察している。
	平成30年度については、教職員の働き方改革における校務支援システムの視察、また学力向上における特色ある取組事例として協調学習の視察ということで広島県廿日市市教育委員会、加計中学校に視察に行っている。

- 例年、1月に開催をしていたが、雪の関係もあり、今年度は比較的天候の良い11月中旬の、11月11日の週、または18日の週辺りに計画したく提案をさせていただいている。
- 内容としては、日帰り、公用車利用ということで、日帰りで視察ができる中国5県内を想定している。
- 出席者については、昨年までと同様である。
- 本日、委員方からテーマ等のご提案をいただき、それを事務局で調整をさせていただき、来月にお諮りさせていただきたいと思っている。本日はテーマについて、ご審議をいただきたい。
- 石本教育長 今年度の教育委員会委員視察研修については、今までの1月、2月では雪の影響もあり、本年は、11月の中頃に実施したいということである。本日、テーマ等の提案をいただき、それを受けて事務局で調整をして、来月の定例会で正式な日程等の決定をしたいと思っている。資料に昨年と一昨年の視察のテーマ等が挙がっているが、今年度は委員方から視察についての中身やテーマの希望があれば発言いただきたいと思う。
- 金本委員 2つ考えてきている。まず、子どもたちが何のために勉強するかということで、今年度からキャリアパスポートを活用しているということで、キャリア教育についてである。もう1つは、ICT関係についてである。
- 石本教育長 キャリア教育の関係、ICT教育の関係を研修のテーマにしたいということである。
- 藤本委員 昨年度の総合教育会議で、公民館のコミュニティセンター化が議題となったが、まだ具体的にどのようなことをされているか分からないため、他に特にないのであればテーマとしていただきたい。
- 宇津委員 少子化ということは、とても大きな課題であり、少子化対策を踏まえた学校教育と地域政策を巻き込んだ形でないと中々前に進まないという気がしているため、そういったところが見聞できれば良いと思っている。
- 石本教育長 少子化対策を踏まえた学校教育と地域の連携ということである。
- 私も1つ考えている。今、歴史資料館の検討会を開いていただいている、昨日で一応終了している。その中で歴史資料館を建設したときに、学校に利用してもらうために、学校と歴史資料館をつなぐ手法であったり、その辺りのシステム化であったりを勉強

	<p>したいと思っている。学校利用を積極的にしておられる歴史資料館、又は博物館の視察ができれば、今後に活かせると思ったため、テーマにしたい。</p> <p>提案を受けて事務局が調整するということであるが、これだけバラバラでは調整は難しいか。</p>
日ノ原係長	<p>出来れば、もう少しテーマを絞っていただいて、後は、具体的な視察場所は事務局で調整する。</p>
石本教育長	<p>テーマを絞ったとしても、日帰りで帰れるところで適当な視察場所ではない場合もある。3つぐらい決めておいて、その中から適当な視察場所があるテーマについて視察するということがいいと思う。</p>
日ノ原係長	<p>承知した。</p>
石本教育長	<p>どのように絞るか。</p>
藤本委員	<p>それぞれ非常にバラバラである。</p>
石本教育長	<p>実は、昨年も一昨年も学校教育関係の視察をしているため、学校教育ではない視察も良いと思う。事務局としては絞ることは難しいと思うが、委員方からそれぞれのご意見を出していただいたため、事務局と私も含めて調整をして、来月の定例会で何個か提案をさせていただきたいと思うがよろしいか。</p>
各委員	<p>全会一致で承認</p>
石本教育長	<p>では一任いただければと思う。よろしく願います。</p>

(2) 浜田市指定文化財の指定解除について (資料2)

外浦課長	<p>前回の定例会の時に、指定解除についての諮問の承認をいただいている。この諮問に対し、指定文化財審議会の委員長から8月8日付けで指定解除が適当であるという答申を受けたところである。</p> <p>裏面に内容を載せている。審議した結果、指定文化財より解除することが適当という結果であり、指定解除するものとして提案させていただく。</p>
石本教育長	<p>8月2日付けで、浜田市文化財審議会に指定解除について諮問をしていた。具体的には大久佐川のエノキであるが、審議会から解除することが適当であるとの答申をいただいている。この答申に基づいて、教育委員会として、この指定文化財の指定を解除するというので決定をしたいと思うがよろしいか。</p>
各委員	<p>全会一致で承認</p>

石本教育長	それでは指定解除するという事で承認いただいた。手続き等よろしく願います。
藤本委員	1つ質問してもよろしいか。 以前、三隅にある海老谷桜に色々と力を入れられて、保存に努められていたと思うが、現在はどのような状況であるか。結構、予算や手間をかけていた。
金本委員	子孫を残している。
外浦課長	子孫が途絶えないようにしている。
石本教育長	元の木はもうだめである。
藤本委員	元の木に関心があった。
石本教育長	綺麗な公園になっていたが、私も最近行ってない。 また、担当課が見に行く。
藤本委員	承知した。力を入れられて色々と研究されていたため、どうなったかなと思った。

(3) 浜田市浜田城資料館条例の施行期日を定める規則の制定について (資料 3)

外浦課長	6月議会において、浜田市浜田城資料館条例の制定を上程したが、その時には開館日が確定できないために、規則で定めるということで、今回、施行日を制定するという事で提案させていただいており、令和元年10月12日としている。 裏面がその規則の原文である。今回、概ね開館の目途が立ち、提案させていただくものである。
石本教育長	今、建設を進めている浜田城資料館であるが、この条例については既に制定をされているが、資料館のいわゆる開館日であるが、条例の施行される期日については規則で定めるということを条例で謳っている。実は、10月12日にオープニングセレモニーを開催すると決まり、12日から開館するという事で規則を定めるものである。 10月12日の10時からオープニングセレモニーを行うため、是非、委員方にもご出席いただきたいと思う。これからご案内をさせていただくので、日程の確保等ができれば、ご出席いただければと思う。
藤本委員	御便殿という名称は消えて浜田城資料館という名称になるのか。
石本教育長	そうである。
藤本委員	市民の方でも知らない方が結構多い。何人かの方に聞いてみた

外浦課長
藤本委員
石本教育長

各委員
石本教育長

が、私が聞いた人は皆さん答えられなかった。その辺りが分かり易くならないといけないと思う。御便殿という名称が消えて、浜田城資料館という名称へ一本化されるということであるか。

そうである。

承知した。

それでは、この規則に定めるということで承認していただけるということでよろしいか。

全会一致で承認

ありがとうございました。

3 部長・課長等報告事項

日ノ原係長

9月浜田市議会定例会議 提出議題（資料4）

9月議会定例会への提出議題のうち、条例以外のものということで、毎年、教育文化振興事業団の経営状況の報告について挙げている。委員方には、平成30年度の事業報告書及び決算報告書と平成31年度事業計画書及び収支予算書をお配りしているが、こちらを9月議会で報告することになっている。中身については、またご覧いただき質問等があればよろしく願います。

一般会計補正予算（第3号）（資料5）

資料一番上の、歳入について諸収入が学校教育雑入で480万円となっている。続いて、歳出が202万4千円となっている。これが、一連のものである。今年の一月に生活路線バスの事故があり、そのバスがスクールバスを使っていた。結果としてバスが廃車となったため、保険金ということで480万円の歳入、そして、スクールバスの補助金を国から受けていたが、経過年数分の返還を求められていたため、その返還金としての支出が202万4千円である。

続いて、項目2の事業別の補正事項ということで、浜田城に関する資料館及び城山整備基金積立金とある。これは、平成30年度に城山公園整備事業を行っているが、財源としてこの基金を取り崩して行っているが、この取り崩しの関係で事業費を精算したところ、取り崩した金額に余りが生じたため、それを補正で再度積み立てるものである。

続いて、項目3の債務負担行為補正であるが教育文化振興事

業団の関係の指定管理施設 7 施設が今年度末で指定管理終了となるため、令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 年間で新たに、指定管理とするための債務負担行為の補正である。

石本教育長

確認であるが、項目 1 の歳出は国への返還金ということであったが、項目 2 の浜田城に関する資料館及び城山整備基金積立金と偶然に同額であるのか。

日ノ原係長

申し訳ない、間違いである。項目 1 の歳出については、浜田城に関する資料館及び城山整備基金積立金である。返還金については、他の補助金とまとめているため、教育費の資料には掲載されていない。

湯浅課長

行事等予定表（資料 6）

本日、8 月 23 日から来月末までの予定を記載している。内容としては、7 月 2 日から 10 月 14 日までの間で石正美術館企画展、7 月 13 日から 9 月 23 日までの間で世界こども美術館企画展も併せて記載をしている。これらについては、資料 14 で別途説明がある。

その下から、本日からの状況である。1 番下には、9 月 28 日から 10 月 6 日までの間ということで、第 51 回浜田市美術展一般公募展の内容も記載をしている。

また、委員方に出席いただくものについては、9 月 11 日の少年の主張浜田大会、9 月 25 日の浜田市中学校駅伝競走大会、9 月 27 日の次回の教育委員会定例会の日程を記載しているため、よろしく願います。

牛尾室長

学力向上総合対策事業中間報告資料（資料 7）

特に夏期休業中の浜田市教委主催の事業について、内容をお伝えする。まず 1 つ目に、スーパーティーチャーの示範授業研修会であるが、7 月 22 日に国府小学校 4 年生で国語科の授業を行った。玉川大学の非常勤講師である大川孝子先生に来ていただき、「ヤドカリとイソギンチャク」という説明文があり、これをインタビューして、インタビューブックを作るという形で授業をしていただいた。「書き換えの授業」という手法があるが、それを取り入れた授業づくりについて紹介をしていただいた。

参加者は 93 名で、国語が 1 番関心が高く、参加者が多かつ

た。資料1番最後の星印のところを見ていただき、説明文をインタビューブック、短い短歌や俳句などに書き換える。書き換えることで、より深く読むという手法であるが、様々な文体を学ぶこと、慣れることは大切である。教科書は特殊な文体であり、実生活では様々な文体、文章に出会うため、そういった経験を色々な場面で図書館活用も含めて進めていくことが大切であるという話が印象的であった。

2ページをご覧いただき、7月23日に今、算数、数学アドバイザーとして関わっていただいている、環太平洋大学の前田一誠先生の算数の授業があり、石見小学校の4年生へ「角の大きさ」という単元で授業をしていただき、84名の参加があった。表現力を育てたいということが今は多いため、ポイントとして言葉に頼る表現から、特に算数、数学は図であったり、指し示したり、動かしたりして、全てきちんと言葉で説明するということを求めずに、こういった様な説明もどんどん行わせましょうと話をした。また、アウトプットも非常に大切であるが、その前のインプット、聞くことの指導をもっと大切にしていきたいと思いますという話もあり、いわゆる上手な表現を身につけようとするが、頭に浮かんだことをそのまま表現する、行きつ戻りつの表現も認めていくということである。

また、昨年から話をされているが、「選択肢」「選ぶ活動」を効果的に導入していく提案である。いきなり考えましょと投げかけるのではなく、2つ、あるいは3つの選択肢を提供して、選んだ理由を問うという方法もいいのではないかとという選択肢の導入の話もされている。

3ページを見ていただき、先ほどの「聞く子ども」を育てるということで、石見小学校から質問があり、聞く子どもを育てるにはどうしたら良いだろうかという話があり、これのずばりの回答という訳ではないが、授業の中で復唱させる、確認させること「～さんの言ったことを、もう一度言ってごらん」と問い、言えたらほめる、言えなかったら責めるのではなく、「～さんにもう一度言ってもらおうよ。よく聞いてね。」と最初の段階を丁寧に毎時間、全ての教室で行う。特に中学校は全ての教科で行う。そういった部分も丁寧にしていくこと、毎時間行わなければだめである。今日はやらない、他の教科はやらないとなれば定着しない。徹底した丁寧さで根気強く行い、まずはそ

こからであると話をしている。

また、小学校は4年生まででほとんどの算数の内容は学習しているということである。5年、6年で、小数や分数のかけ算、わり算がでてくるが、全て整数のかけ算とわり算と考え方は同じである。あるいは見方、考え方を育てる。ことあるごとに、「整数の時と同じだね。」と「整数の簡単な数字のかけ算の時と小数に変わっても全く一緒だね。」と繰り返すことが重要であると話をしている。

実はこの度、教科書が改定となり、東京書籍に今年、来年と決まったが、新しい教科書と比べると、このことが繰り返してきている。「整数の時と同じだね。」とその言葉に線がひっついてあり、繰り返してきている。今まで少しはあったが、「考え方は変わらないよ。」と小数になれば頭が混乱して反対にかけてしまったりするが、「整数の時と一緒だね。」という投げかけが非常に大事で、それを教諭が意識して授業に取り入れていかなければいけないと感じた。

続いて、8月19日に道徳科ということで、森ノ宮医療大学の阿部秀高先生に来ていただき、初めて中学校で授業公開をしている。第四中学校の3年生であるが15人のうち、3人休みであったため、12人しか当日来られなかったが、授業をしていた。参加者は65名であった。小学校の教員もいたが、中学校の教員も半分くらい来ていて、中学校での授業改善のために、こういった機会を設定することは必要であると思った。

道徳の授業自体、時間が足らなかったため、授業が中々うまくはいかなかったが、この後の話の中で1番の学力保障に向けて学校が抱える学力に関する問題点ということで、5つ挙がっている。これは浜田市も同じ状況である。家庭学習の時間が短い、文章を書くこと・読むことへの苦手意識、図書館の利用・読書の少なさ、高学年・中学生の家庭学習の意欲への問題、生活習慣、規範意識、学習への有用感が、今、大きな問題点であると私も思っている。では、どのような対策のポイントがあるのかということ、特効薬はないが、まず、言語活動を通した確かな言葉の力の育成と、自分の考えや思いを伝え合うということが大事である。インプットだけではなく、それを言葉にしてみることが重要である。また、書くことも大事である。そして次に、学習の意味の丁寧な説明や何のために学ぶのかということ

を子どもたちと共有していくことである。今、めあてと振り返りということをしきりに言っているが「これを何のためにやっているか、この時間は何のために学ぶのか」ということをはっきりさせて、「今日はこんなことを学んだね」と振り返るということを丁寧に行わなければならないと思っている。

そして、考えることの楽しさを実感できる授業づくりということで、民間資源や公共施設の活用ということで、例えば図書館活用が大切である。今、浜田市では図書館活用教育をやっているため、これは大切であるということを改めて実感したところである。

阿部先生のまとめの言葉として「当たり前のことを、当たり前前に丁寧に積み重ねていくこと、地道な道のりが1番の近道である」ということであった

続いて、項目2をご覧いただき、教育長からも話があったが、毎年、協調学習の研修会を開催しているが、今年度は、東京大学の齊藤萌木先生に来ていただいた。平成23年度から浜田市は協調学習に取り組んでいるが、初めから関わっていただいている先生である。8月21日に研修を行い、午前中に管理職対象の研修があり、32名の参加であった。教頭、校長が両方参加されている学校もあった。午後からは、一般の教職員対象の研修があり、55名の参加があった。

今回、管理職対象の研修を行ったのは、理解している管理職もいるが、新任の管理職や、まだ理解の浅い管理職もいるため、まず管理職である教頭、校長先生に協調学習、ジグソー法の共通理解をしていただくためである。ジグソー法で授業づくりに挑戦するという教員も少しずつ増えているため、管理職がそれを後押ししていくために必要だと思い、開催したところである。思考力を高めるためには「考えてそれを表現する、表現して、また考えてそれを発表する」ことである。この機会や経験が多いほど思考力が高まる。先ほどの阿部先生の話にもつながって、そういった機会をうまく限られた授業の中で取り入れていくことが大事である。ジグソー法の流れの中では、そういった経験が必然的にできあがる仕組みになっている。そのため、ジグソー法の手法が1つ思考力を活性化させるために非常に有効であるという話であった。初めて参加された校長先生も大変よく分かったと言っておられ、学校に帰って自分を含め一緒に

行ってみると言われた校長もおられた。

続いて、項目3をご覧いただき、図書館を使った調べる学習の応援講座ということで、7月23日から25日までと28日に、小学生の希望者を対象にした講座を行い、保護者も一緒に参加をして自分の調べたいテーマをここで明確にした。支援者の助言を受けながら、調べる方法を学び、自分のテーマについて調べ、最後はできたところまでのプレゼンテーションを行った。この講座の時間に全てを完成させることが目的ではなく、きっかけづくりということで、この講座後夏休み明けのところまでで参加した子どもたちは自分で調べ、学習を深めた。おそらく、この講座の参加者の作品が出品され、図書館を使った調べる学習コンクールのレベルが上がっていくのではないかと思っている。

最後に図書館活用教育研修ということで、昨日、鳥取短期大学の非常勤講師である倉光信一郎先生に来ていただいた。「読書へのアニマシオン」という演題で読書指導を行っていただいた。アニマシオンというのは、昔からあったようだが、語源はアニメーションと一緒に、動かない絵を動かす様に命のないものに命や元気を注入することであり、活性化するとか作戦だとか、ワクワクドキドキするという様な意味合いがある。受動的に読書をさせたり、読み聞かせしたりではなく、作戦やゲーム的な要素を入れて、「読書って楽しいよ」と自分から積極的に読むための手立てをこういった形でいくつか紹介していただき、学校司書の方々も是非やってみたいと言われていた。

文部科学省は夏季休業中に研修をすることを控えるような通知を出しているが、やはり教員は夏休みこそ、ゆっくりじっくり研修ができる大切な時期であるため、教育委員会としても授業の改善のために、自分で選んでいただいて、これはできそうというものがあれば、2学期からの授業改善に活かしていただければと思っている。

村木課長

知夫村教育委員会視察団による石見公民館、中央図書館視察について（資料8）

視察のねらいとしては、社会教育施設である公民館と中央図書館との連携の仕方についての知見を得るということである。視察日は7月31日、視察者は6名であり、主に実践者の方々

が来られ、こちらにも実践者をメインとして対応をさせていただいている。

主に、石見公民館が昨年度から取組んでいる「声に出そう！読んでみよう！絵本やお話から本を読んで元気になる講座」という高齢者の方をスタートとした読み聞かせ運動、こういったことの視察、また、中央図書館が築5年と新しいこともあって、施設の視察も兼ねて行われた。

また、情報提供であるが、8月29日には県議会議員の方々も同様に石見公民館と中央図書館の連携事業の視察に来られる。これについては、次回の定例教育委員会で報告させていただきたいと思っている。

また、先日は旭町の木田地区の住民の方が中央図書館の視察に来られた。これに関しても、次回の定例教育委員会で報告させていただきたいと思っている。

夏休み地域・教員事業について（資料9）

間もなく夏休みも終わるが、公民館においても色々と夏休みの事業を展開したところである。今日は時間の都合で、県立大学との連携や、夏休み中に学校の先生に地域の宝などの視察をしたことを抜粋して報告させていただく。

まず、「大学生とふるさとの味を体験しよう！イン浜田」ということで、長浜公民館と島根県立大学の林ゼミと食生活改善推進協議会の長浜地区の方の連携事業である。まず、最初に勉強タイムということで、県立大学生に勉強を教えてもらい、その後、ふるさとの味体験ということで、いかめし、あじの南蛮漬、野菜たっぷりお味噌汁などを一緒に作り、浜田の食材の味を一緒に学び、食すといった事業を行った。

また、「こくふ地域学習 2019」や「金城自治区内小中学校新任教職員研修会」では、それぞれ学校の先生をターゲットとして、管内の名所や、学校等で活用していただきたい場所をそれぞれの公民館でピックアップして案内し、ふるさと再発見事業を活用して事業展開をしているところである。

はまだっ子共育推進事業 家庭教育支援「HOOP！」について（資料10）

昨年から取組んでいる事業であり、今回は、白砂地区の乳幼

児の保護者を対象として「愛着を育む」という事業を展開した。

この「HOOP」には3つのテーマがあり、「愛着」、「小学1年生の壁」、「スマートフォンに子守をさせるのですか」といった関係で、この3つのテーマの内の1つである「愛着」に関するものである。

今回は、あえて公民館で行わず外に出て、JR折居駅の後にあるカフェの2階で、乳幼児の保護者と一緒にフランクな形でHOOPの事業展開をしたところである。HOOPのアドバイザーは三隅の岡崎保健師にお願いしている。全ての保健師がアドバイザーということで、「愛着」の勉強をしていただいております。「小学1年生の壁」は中央図書館の宇谷館長、「スマートフォンに子守をさせるのですか」というスマートフォン対策はあさひ診療所の宮本所長に、それぞれアドバイザーをしていただき、事業展開をしている。

資料の下の写真をご覧ください、人形を使ったりしながら、子どもと一緒に事業を楽しんだといったところである。受講者の気付きや意見も掲載しているため、ご覧いただければと思う。

「開府400年記念事業」2019年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会について（資料11）

目標の500人をはるかに上回る905人の方にご参加いただいた。参加者の増もあり、駐車場のトラブルを1番懸念していたが、結構乗り合わせで来られていた。また、歩いて来られる方も多数おられたと駐車場の担当者から聞いたところである。一応、第一中学校も駐車場として借りていたが、第一中学校には停めず、ふれあい広場で200台用意していたが、半分ぐらいで収まり、駐車場でのトラブルはなかった。

ただ、かんぼ生命とNHKとの合同の記念品を600個用意していたが、足らなかった分については、ある程度、組織の把握ができていた、スポーツ少年団、体育協会、市職員の3団体について、引き換え券をお渡しして後日引き換えという形にさせていただき、特にトラブルもなく終わったところである。記念品であるが、既に到着しており、詰め込み作業が終わり次第、来週早々には関係者の皆様に配布したいと考えている。

また、当日はサテライト会場として、弥栄、杵束、金城のみ

外浦課長

どり会館等でも同じ電波を受けて実施をしたところである。

(仮称) 浜田歴史資料館検討会の検討状況について (資料 12)

これは、7月22日に行われた第4回目の浜田歴史資料館検討会の資料である。括弧書きの中に委員の意見を記載している。資料館建設全般に対する意見ということで、展示内容について展示の見直しや民間の施設としっかりとした連携が必要であるといった意見があった。また、現在の浜田郷土資料館の状況をみると建設は必要であるといった意見もあった。また、提示した3案に対しての意見として、複合化施設にするのが良いという意見や、運営費については市の財政にとって負担にならない方がよいという意見、多くの市民に説明し、理解を得ることが必要であるという意見、そして施設の完成後は検証もしっかりと行うべきといった意見もあった。

裏面をご覧ください、今回の検討会では、ほとんどの委員から建設については賛成という意見が示された。会長から検討会としての報告案をまとめたという意向により、アンケートを実施し、第5回目の検討会に向けてまとめ、昨日、第5回目の検討会が行われたところである。第5回目の検討会では、概ねまとめということで、委員方に資料として配布をさせていただいているが、その中の「検討結果報告について (案)」という資料が最終的な検討会としての意見ということで、昨日、概ねこういった内容で市長に報告をするということで終了したところである。

アンケートの結果では、会長を除く全委員21名中、賛成が9名、条件付賛成が10名、計19名の方が賛成という意見であった。大半の委員が賛成ということであったが、反対という回答をされる方も1名おられ、他にすべき事業があるのではといった意見であった。

整備箇所については、3案提示していたが、A案とC案に分かれている。1番良い案として、第1位に希望するというものがA案7名、C案7名で同数であった。1位、2位をそれぞれ合算すると、多いのはC案で16名、次にA案が11名であった。また、建設費、運営費については、圧縮するようという意見であった。

最後に会長意見として、整備の必要性と効果、さらには行政

運営等の実態について市において丁寧に説明をすること、そして後の利用状況であるが、継続的なモニタリングの体制をしっかりと構築して、結果をしっかりと公開をするという意見であった。

浜田開府 400 年記念「NHK のど自慢」の実施について (資料 13)

11 月 3 日に石中央文化ホールの大ホールにて開催され、ゲストは、長山洋子さんと堀内孝雄さんである。開場は午前 11 時、開演は午前 11 時 45 分から午後 1 時 30 分の予定である。

予選会が 11 月 2 日にあり、石中央文化ホールの大ホールで行われる。

出場及び観覧については、それぞれ、出場については NHK 松江放送局、観覧については浜田市教育委員会への申込みとなる。

石本正作品選 2、クルクルパラパラ動くアートの秘密展、石本正日本画大賞展、第 3 回いわみ三つ星コンサート 2019 の開催について (資料 14)

石正美術館にて石本正作品選 2 ということで、7 月 2 日から 10 月 14 日まで展示会を行っている。

こども美術館ではクルクルパラパラ動くアートの秘密展ということで 7 月 13 日から 9 月 23 日まで展示会を行っている。

そして、8 月 27 日から 10 月 14 日まで石正美術館では石本正日本画大賞展の展示の予定をしている。第 5 回目となり、全国の美術大学の優秀作品が一堂に並ぶ最大規模の学生日本画展である。

そして、第 3 回目になるが、いわみ三つ星コンサート 2019 ということで、8 月 31 日に石中央文化ホールのロビーにて、音楽、食と空間を一緒に楽しむというコンサートになっている。このチラシは 3 か所の公演を集めたものになっている。今回は浜田少年少女合唱団も参加するということである。石中央文化ホールに入って右側のロビーにフードコートを設置してそこで食を楽しみ、左側のロビーでコンサートを楽しむ形式のコンサートとなっている。

以上、資料に基づいて報告をいただいたが、その他資料のないところで各課長から報告事項はあるか。

石本教育長

平岡室長
(代理：三浦係長)

先ほど、教育長からも報告があったが、8月19日に石中央文化ホールでふれあいフォーラムを開催した。冒頭、教育長に代わり藤本委員さんにあいさつをいただいたところである。380人の参加があり、無事に開催できたことを報告する。

石本教育長
各課長
石本教育長

その他はよろしいか。

特になし。

それでは、今までの報告事項の中で委員方から質問等があればお願いします。

質疑応答

藤本委員

資料5の予算の説明の部分で、債務負担行為補正とあるが、これは来年度から5年間の指定管理料だと思うが、例えば浜田市野球場は掲載されていないが、更新の年度が違うということか。

日ノ原係長
藤本委員

そうである。

管理者の方から聞いた話であるが、予算が厳しく、苦勞されているということである。私は、予算が足りないなら要求してくださいと言っているが、指定管理料という1つの括りの中でされているため、中々それが難しいため実現しないといった苦情をよく聞く。全部とは言わないが、多少負担できるものがあるのであれば負担してあげてみては良いと思っている。浜田市の野球場は利用者が多い。

また、三隅野球場であるが、管理者の方があまり野球の知識がないようで、必要な用具がない。以前、三隅分室長にお願いして球場に必要な用具を購入していただいたが、球場に行くとそれがない。5個購入していただいたが、1つ、2つしかなくて、どこにいったかがわからない。いかにも管理がいい加減である。野球場のものであれば、きちんと野球場と記入をしておけばどこかに持って行ってもすぐわかると思うが、何も記入しないと誰がどこに持って行ってもわからない。ということで、少し粗末な感じだと思ったため、またそういったことがあるということを知っておいていただけたら思う。特に答弁はよい。

もう1つ、資料11でラジオ体操の報告を聞いて感心したが、これに関連する訳ではないが、私の地域では小学生が夏休みにラジオ体操をやっているが、参加者が少ないということで周辺の老人クラブの会員さんが20数名参加をして、子どもたちと一緒にラジオ体操をしている。私も参加をしていて、朝の早い時間帯か

石本教育長
藤本委員

ら清々しい笑い声が響くような状況である。そういった様に夏休みのラジオ体操は実施していない地域、細々と実施している地域など色々な形態がある。やはり地域の方が少しでも応援する気持ちを持つことが大事だと思った。これも特に答弁はよい。

ありがとうございました。

三隅野球場では、ポイントを誰が入れるのか。ポイントがないところもあり、あってもよっぽど知っていて探さないと分からない。

村木課長

ラインのポイントは、浜田市教育文化振興事業団に確認をさせていただく。

藤本委員

言ってもらえれば、私がボランティアでも行う。三隅野球場はそういったことをする人がいない。

石本教育長
村木課長
藤本委員
石本教育長
村木課長

ポイントとは何か。

線を引く時の基準となる色々なポイントである。

特にバッターボックス辺りは消えてしまう。

ポイントは埋めてないのか。

埋めてあるが、確かに外れているところもある。野球場が4つあって、4つとも管理が違うことも事実である。

藤本委員

特に三隅は電光掲示板に替わり、浜田はまだ、電光掲示板になっていないため、県大会は三隅で行われる。松江や出雲からも代表のチームが来てレベルの高いゲームをするが、残念である。

村木課長
藤本委員

承知した。

浜田はしっかり管理されているが、電光掲示板になっていないため、県大会を行うには少しもの足りない。そういったことを知っておいてほしい。

村木課長
石本教育長
金本委員
村木課長

承知した。

よろしく願います。

ラジオ体操であるが、三隅はサテライト会場がなかったのか。

サテライト会場については、1週間前に依頼があったため、中々準備が難しかったというのが正直なところである。結果的には、三隅と旭はなかったが、旭はラジオの入りやすいというのがあり、三隅は遠いながらも結構来ていただいた。こちらからサテライトの依頼が遅かったということで難しかったということもあり、本会場に来ていただいたというようなこともあったりしたので、その辺りで調整をさせていただいた。

金本委員

どうしても周辺部は、開府400年記念と言ってもピンとこない

人が多いので、サテライト会場があれば身近に感じられたのかなと思った。

村木課長 当初、1か所で考えていたが、急遽広げたところもあり、申し訳なかった。また、他の地区はある程度、防災無線で行政連絡ができるが、三隅の場合はご存知の通り防災無線は緊急時で、どちらかというケーブルテレビを通してということになるため、周知が十分できず申し訳なかった。

石本教育長 のど自慢の関係であるが、観覧の受付は始まっていて、既に申し込みがきているのか。

外浦課長 届いている。

石本教育長 当然、人数を超えらと思うが、抽選になるのか。

外浦課長 そうである。

石本教育長 はがき1枚で2人か。

外浦課長 そうである。

石本教育長 11月3日の生放送の前に色々なあいさつなどがあるのはわかるが、生放送が終わった後13時半まであるのは30分間何をするのか。

金本委員 ゲストの方が再び歌ってくれるのではないかと。そんな話を聞いたことがある。

石本教育長 私は今まで見に行ったことがないため分からないが、そうかもしれない。確かに1曲だけでは寂しい。

関心がある方は是非、観覧希望のはがきを出していただければと思う。

宇津委員 いよいよ2学期が始まるが、小学校は9月に入ってから始業式か。

石本教育長 28日、29日が始業式である。今年は5月の連休が10日間あった関係で、例年より2、3日休みが短い。

宇津委員 ここ数日の気温からすると、そこまで心配することはないのかもしれないが、暑さがまだ残る日もあるため、対策をしなければならぬと思う。

石本教育長 承知した。9月3日に校長会があり、その時に運動会や体育祭もあるため、そういった準備も含めて子どもの健康管理について話をする。中学校は来週の月曜日くらいから始まり、高校は既に始まっている。

宇津委員 もう一つ心配なのが、二学期スタートのところでどうしても行き渋りする子どもが出てくると思う。

石本教育長		その辺は統計でも明確に出ている。また、学校教育課から各学校に連絡をしたいと思う。
藤本委員		私の知っている子どもも、学校に行っていないが、友達と遊んでいるのを見かける。
石本教育長 各委員		その他はよろしいか。 特になし。

4 その他

(1) その他

石本教育長 各課長		事務局からその他何かあるか。 特になし。
石本教育長 各委員		委員方からご報告やご質問があればお願いします。 特になし。

次回定例会日程

定例会 9月27日(金) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

次々回定例会日程

定例会 10月24日(木) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

15:00 終了